

# ボウリング競技実施要領

## 1 競技規則

全国障害者スポーツ大会競技規則「（公財）日本障がい者スポーツ協会制定」及び本大会の申し合わせ事項による。

## 2 招 集

- (1) 招集所は、出場レーンとする。
- (2) 招集は、競技開始時刻30分前から20分前までに出場レーンにて点呼を受け完了する。
- (3) 競技開始時刻20分前までに点呼を完了しなかった競技者は、棄権したものとみなし、出場できない。
- (4) 棄権する場合は、受付に棄権届けを提出すること。

## 3 競技方法

- (1) 試合の方法は、ヨーロッパ方式（1つのレーンで投球）で行う。
- (2) 競技はすべてスクラッチ（ハンディなしの記録）で行い、2ゲームを実施し、合計得点により順位を決定する。
- (3) 原則として、ゲームは同一レーン4名以内とし、1フレームごとに交代で投球する。  
投球練習は、競技スタート前に競技役員（審判員）の指示により行う。
- (4) 隣り合ったレーンで、同時に投球に入った場合は、右側のレーンの選手を優先する。
- (5) オートマチックスコアラーの操作は、審判員もしくは会場係員が行い、個人記録カードの記入は、競技役員が担当する。
- (6) 競技は、競技役員（審判員）の指示で行う。

## 4 競技の服装

- (1) 服装は、ボウリングをする上で支障のないものを着用すること。
- (2) ソックスを必ず履くこと。

## 5 番号布（ゼッケン）

番号布は、主催者が交付したものを競技服装の上衣の背部に付けること。

## 6 表 彰

出場者全員に記録証を授与する。

## 7 その他

- (1) 選手はボウラーズベンチをみだりに離れてはならない。やむを得ず離れる場合は、競技役員（審判員）に申し出ること。
- (2) 受付が済んだら、使用ボール等の指示を受けること。  
ボウリングシューズ・使用ボールは各自のものを使用するのが望ましいが、ボウリング場のハウスシューズ・ハウスボールを使用してもよい。  
ハウスシューズの貸し靴料は、選手負担とする。
  - ①ハウスシューズの履き替えはボウラーズベンチ内で行う。
  - ②ハウスボールは所定の場所から選んで使用し、競技終了後速やかに元の場所に返却すること。
- (3) 下靴は各自荷物と合わせて、ボウラーズベンチに置き各自で管理すること。
- (4) 競技場内へは、大会役員、競技役員、競技補助員等、大会競技役員関係者及び競技者、許可された介助者、報道関係者以外ボウラーズベンチ内へ立ち入ることはできない。